

hp
l1619a
スマート接続
モジュール



ユーザーズガイド

ご注意

本書とそれに収録されているすべての例は、「現状のまま」で提供されており、予告なしに変更される可能性があります。ヒューレット・パッカード社は、商品性および特定目的に対する適合性についての暗黙の保証を含め、またこれに限定されることなく、本書についての保証は一切行いません。ヒューレット・パッカード社は、本書の記載の誤り、あるいは本書または記載例の利用にともなって生じる偶発的、間接的損害に関して責任を負いません。

オーストラリアおよび英国における消費者取引: 上記の免責事項および制限は、オーストラリアおよび英国における消費者取引には該当せず、消費者の法的権利に影響しません。

© Copyright 2003, 2004 Hewlett-Packard Development Company, LP. 著作権法で許可されている場合を除いて、ヒューレット・パッカード社の事前の書面による許可なく本書の複製、翻案、翻訳を行うことは禁止されています。

本製品を制御するプログラムは著作権で保護されています。
ヒューレット・パッカード社の事前の書面による許可なくこれらのプログラムを複製、翻案、翻訳することも禁止されています。

本製品を制御するプログラムには、MARGI Systems, Inc. に著作権があるものがあります。著作権に関する詳しい情報は、それぞれのプログラムを参照してください。

本製品にはオープンソースソフトウェアが使用されています。

Microsoft®およびWindows®は、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。Adobe®およびAcrobat®は、Adobe Systems Incorporatedの商標です。Presenter-to-Go®およびMARGI®は、MARGI Systems, Inc.の商標です。

Hewlett-Packard Company
Digital Projection and Imaging
1000 NE Circle Blvd.
Corvallis, OR 97330

第3版(2004年10月)
ファームウェアバージョン 2.1

1 プロジェクタのセットアップ

内容物	8
モジュール各部の名称	9
モジュールのセットアップ	10
接続モジュールを取り付けるには	10
コンパクトフラッシュワイヤレスカードを挿入するには	12
ケーブルネットワーク接続用にプロジェクタを設定するには	13
ワイヤレス接続用にプロジェクタを設定するには	15

2 ネットワーク接続されたコンピュータからプレゼンテーションを行う

プレゼンテーションの準備	17
ネットワーク経由でプレゼンテーションを行うためにコンピュータを準備するには	18
ケーブルネットワーク接続用にコンピュータをセットアップするには(オプション)	18
ワイヤレス接続用にコンピュータをセットアップするには(オプション)	20
プレゼンテーションの表示	23
プレゼンテーションを開始するには	24
プレゼンテーションを中止するには	25
プレゼンタを追加するには	26
プロジェクタの接続を解除するには	27

3 ワイヤレス携帯端末からプレゼンテーションを行う

プレゼンテーションの準備	29
ワイヤレス接続でプレゼンテーションを行えるように携帯端末を設定するには	29
モバイルプレゼンテーションを作成するには	30
プレゼンテーションを表示する	32
ワイヤレス接続を行うには	32
プレゼンテーションを開始するには	34
プロジェクタの接続を解除するには	35

4 メモリカードからプレゼンテーションを行う

プレゼンテーションの準備	37
プレゼンテーションを保存するには	37
コンピュータの準備をするには	39
PowerPointプレゼンテーションを保存するには	39
モバイルプレゼンテーションを作成するには	40
プレゼンテーションの表示	41
プロジェクトにメモリカードを挿入するには	41
メモリカードからプレゼンテーションを行うには	42
メモリカードのプレゼンテーションを中止するには	45

5 システムの管理

プロジェクトの管理	47
プロジェクトのアドレスを調べるには	47
オンスクリーンメニューでプロジェクトを管理するには	48
Webブラウザでプロジェクトを管理するには	49
システムのアップグレード	51
ファームウェアをアップデートするには	51

6 トラブルシューティング

トラブルシューティングのヒント	53
接続の問題	53
セットアップの問題	56
プレゼンテーションの問題	57
メモリカードの問題	59
ハードウェアの問題	61
プロジェクトのテスト	62
プロジェクト診断テストを実行するには	62

7 参考情報

仕様	63
安全情報	64
規制情報	65
日本	66

国際	67
----------	----

索引

プロジェクタのセットアップ

この章では、モジュールとHPデジタルプロジェクタの設置およびセットアップ方法について説明します。

- 「内容物」 8ページ
- 「モジュール各部の名称」 9ページ
- 「モジュールのセットアップ」 10ページ

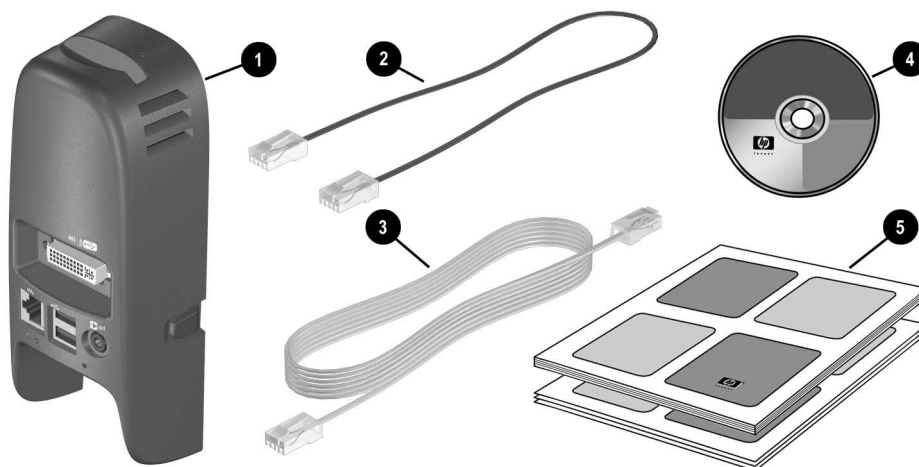


HPプロジェクタ用アクセサリを使用すれば、より効果的なプレゼンテーションを行うことができます。アクセサリは、www.hp.comまたはプロジェクタ販売店にてお買い求めください。

- **HP天井取付け器具**: プロジェクタを天井に簡単かつしっかりと吊り下げることができます。
 - **ハンドル付きHPモバイルスクリーン**: どこにでも携帯でき、簡単にセットできます。
 - **HP電源ケーブル**: あらゆる地域に対応しています。
 - **HPケーブル**: あらゆるオーディオビデオ機器を接続できます。
 - **HP交換用ランプ**: プロジェクタに出荷時と同じような真新しい輝きをもたらします。
-

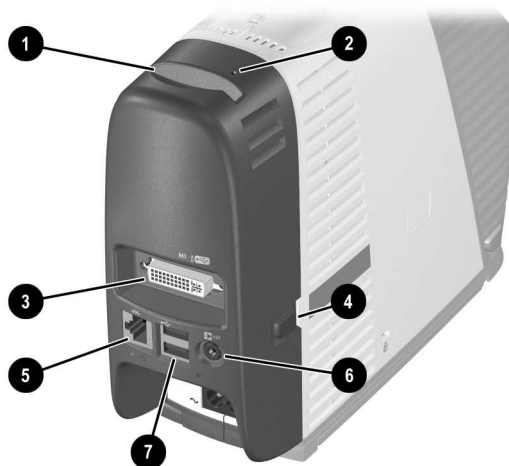
内容物

プロジェクタをセットアップする前に、梱包ケースに以下の品目が入っていることを確認してください。以下のいずれかの品目が不足している場合は、HPまでご連絡ください。



番号	名称	機能
①	スマート接続モジュール	プレゼンテーションを行うための高度な機能をプロジェクタに追加します。
②	ファームウェアアップグレードケーブル(短)	アップグレード時にプロジェクタとコンピュータを接続します(クロスLANケーブル)。
③	ネットワークケーブル(長)	プロジェクタをネットワークに接続します。
④	ソフトウェアおよびドキュメンテーションCD	モジュール用のソフトウェアとドキュメント類が収録されています。
⑤	セットアップ、サポート、および保証に関するドキュメント	プロジェクタを初めて使用するときの手順とサポート情報について説明します。

モジュール各部の名称



番号	名称	機能
①	コンパクトフラッシュカード スロット	コンパクトフラッシュ Type IおよびType IIカードに対応 します。
②	接続ライト	モジュールが取り付けられ、電源が入ると点灯します。
③	M1入力端子	コンピュータなど、アナログおよびデジタルビデオ出力 を持つさまざまな機器を接続します。マウスポインタ制 御用のUSBデバイス出力もサポートします。
④	リリースタブ(両側)	プロジェクトにモジュールを留めます。
⑤	LANポート	プロジェクトをネットワークに接続します。
⑥	オーディオ出力ポート	今後のために予約済み
⑦	USBポート×2	USBメモリカード、マウス、キーボードを接続します。

モジュールのセットアップ

ここでは、モジュールのセットアップ方法について説明します。

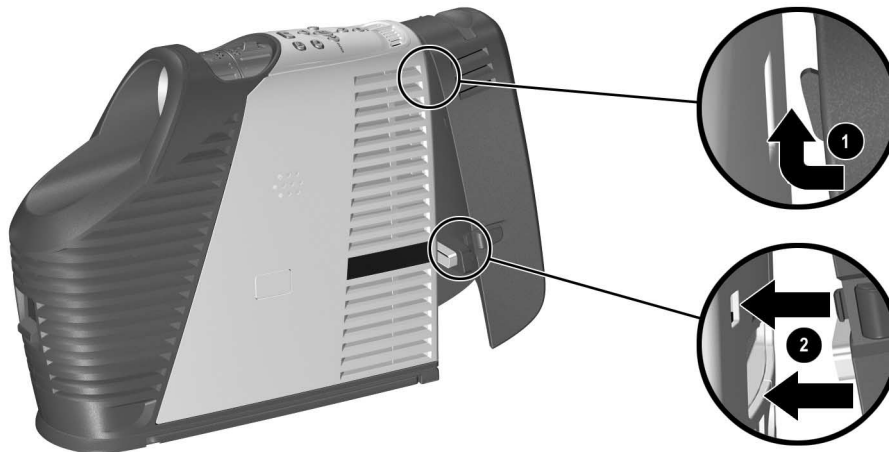
- 「接続モジュールを取り付けるには」 10ページ
- 「コンパクトフラッシュワイヤレスカードを挿入するには」 12ページ
- 「ケーブルネットワーク接続用にプロジェクトを設定するには」 13ページ
- 「ワイヤレス接続用にプロジェクトを設定するには」 15ページ

接続モジュールを取り付けるには

1. プロジェクトの電源をオフにし、プロジェクトの熱が冷めたら、電源コードを外します。プロジェクトに接続されているケーブルをいったんすべて取り外します。
2. モジュールをプロジェクトの背面に取り付けます。モジュールの上部フックをプロジェクトの上段スロットに差し込み①、M1コネクタと両側のタブが正しい位置にロックされるまでモジュール下部を押します。②
3. 電源ケーブルを接続し、プロジェクトの電源をオンにします。モジュールが正しく取り付けられると、モジュール上面の接続ライトが点灯します。



プロジェクトやアクセサリモジュール用ファームウェアのアップデートを求めるメッセージが表示された場合は、51ページの「ファームウェアをアップデートするには」を参照してください。コンポーネントのファームウェアがプロジェクトと互換性がない場合、プロジェクトは正しく動作しません。



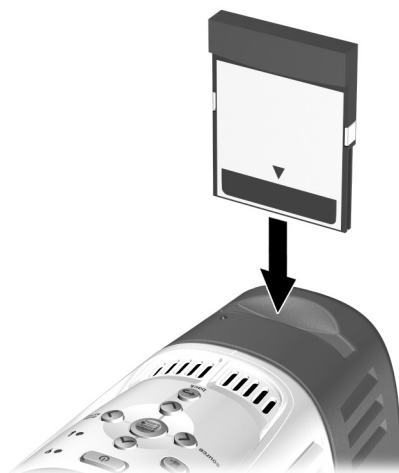
モジュールを取り付けたら、前と同じように入力ケーブルをプロジェクトに接続します。ただし、M1ケーブルはプロジェクト本体ではなく、接続モジュールに差し込みます。接続モジュールに差し込んでも、M1ポートはこれまで通りに動作します。

モジュールを取り外すには、電源をオフにし、電源コードとケーブルをすべて外して、モジュール両側のタブをつまんで外します。

コンパクトフラッシュワイヤレスカードを挿入するには

互換性のあるコンパクトフラッシュワイヤレス802.11bネットワークカードをコンパクトフラッシュ用スロットに挿入することで、プレゼンテーションを行う際にケーブルを使用しなくてもプロジェクタにワイヤレス接続することができます。本プロジェクタはHP L1640Aコンパクトフラッシュ802.11bカードをサポートしています。この他のカードとは互換性がない場合があります。お近くに本カードの取扱店がない場合は、HPサポートまでお問い合わせください。

- コンパクトフラッシュワイヤレスカードの上面をプロジェクタの前面に向けて、スロットに挿入します。



カードを挿入したら、カードの設定を行います。15ページの「ワイヤレス接続用にプロジェクタを設定するには」を参照してください。

対応するコンピュータと携帯端末の種類については、第2章「ネットワーク接続されたコンピュータからプレゼンテーションを行う」(17ページ)および第3章「ワイヤレス携帯端末からプレゼンテーションを行う」(29ページ)を参照してください。

コンパクトフラッシュメモ리카ードの挿入方法については、第4章「メモ리카ードからプレゼンテーションを行う」(37ページ)を参照してください。

ケーブルネットワーク接続用に 프로젝터를設定するには

本 프로젝터はネットワークに接続できます。これにより、ネットワーク経由で 프로젝터に接続してプレゼンテーションを行えるようになります。

1. モジュール背面の LAN ポートに、CAT5 または同等のネットワークケーブルを差し込みます。ケーブルのもう一端をローカルネットワークに接続します。



2. 프로젝터の電源をオンにします。ネットワークポートの左側のインジケータライトが点灯し、10または100 Mb/sの接続を示します。右側のライトはネットワーク動作を示します。

프로젝터は通常DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)サーバからIPアドレスを取得します。

3. 프로젝터のTCP/IPネットワーク構成を確認または変更したい場合は、オンスクリーンメニューを開いて、**セットアップ > ネットワーク**を選択してください。ネットワークでDHCPサーバを使用していない場合は、ネットワーク管理者に適切なTCP/IP設定を問い合わせてください。

ネットワークの詳細情報を表示するには、オンスクリーンメニューで**ヘルプ > ネットワークについて**を選択します。

4. ネットワークに接続されたコンピュータで、Internet ExplorerまたはNetscape Navigatorを開き、프로젝터のIPアドレスをURLバーに入力し、**Enter**を押します。
5. ブラウザ画面で、**ネットワーク > Wireless Presenter**を開きます。ネットワークプレゼンタが 프로젝터を識別できるように、프로젝터の名前を入力します。また、프로젝터のパスワードを入力して、プレゼンタが接続するたびにパスワードを入力しなければならないように設定することもできます。

6. **適用**をクリックして、設定を有効にします。

ネットワークで接続されたコンピュータからプロジェクトの設定を変更する方法については、49ページの「Webブラウザでプロジェクトを管理するには」を参照してください。

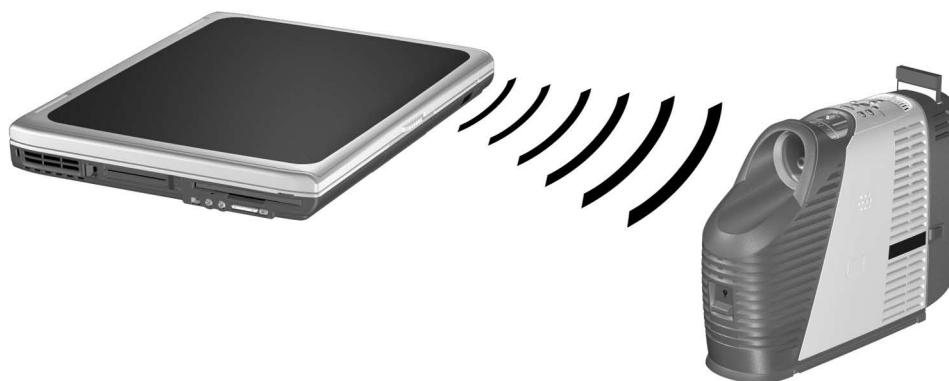
本プロジェクトはケーブルネットワーク接続を使用して、以下の図のようなネットワーク設定を行うことができます。



ワイヤレス接続用に 프로젝터를設定するには

프로젝터에 콤팩트 플래시 무선 네트워크 카드가 삽입されている場合は、ケーブル接続用 네트워크ポートの他にワイヤレスネットワークポートも装備されています。この場合、使用するワイヤレス接続の種類に応じた 프로젝터のセットアップを行う必要があります。

- Ad Hoc接続(簡易接続) — コンピュータへのダイレクトなワイヤレス接続です。本 프로젝트ではアクセスポイントへのワイヤレス接続は行わないでください。



- インフラストラクチャ接続 — ワイヤレスアクセスポイントを使用するワイヤレス接続です。アクセスポイントはローカルネットワークに接続することも可能です。



1. プロジェクトの電源をオンにします。
2. オンスクリーンメニューを開きます。プロジェクトのケーブル接続用IPアドレスは、オンスクリーンメニューの下部に表示されます。

ケーブルおよびワイヤレスネットワーク接続に関する詳細情報を表示するには、オンスクリーンメニューで**ヘルプ > ネットワークについて**を選択します。

3. ネットワークに接続されたコンピュータで、Internet ExplorerまたはNetscape Navigatorを開き、プロジェクトのIPアドレスをURLバーに入力し、**Enter**キーを押します。ワイヤレス構成を設定するには、ケーブルネットワーク接続用のIPアドレスを使用してください。
4. ブラウザ画面で、**ネットワーク > ワイヤレス設定**を開きます。
5. **Ad Hoc**接続の場合は、以下のプロパティを設定します。

- [ワイヤレスネットワークの種類]を**Ad Hoc**に設定します。

- 希望する**ネットワークID (SSID)** (Service Set Identifierとも呼ばれます)および暗号化オプションを指定します。

インフラ接続の場合は、ネットワーク管理者の指示に従って、以下のプロパティを設定します。

- [ワイヤレスネットワークの種類]を**インフラ**に設定します。

- **ネットワークID (SSID)**および暗号化オプションを使用するアクセスポイントに合わせて設定します。

- ネットワークでDHCPサーバを使用している場合は、[IP構成方法]を**DHCP**に設定します。ネットワークでDHCPサーバを使用していない場合は、ネットワーク管理者に適切なTCP/IPネットワーク設定を問い合わせてください。



暗号化を有効に設定すると、暗号化キーが現行のネットワーク接続を経由してプロジェクトに送られますが、これにはセキュリティ上の問題があります。このため、セキュリティ保護上、暗号化キーの設定はケーブルネットワーク接続の使用中的のみ行ってください。セキュリティ上最も安全な接続方法は、ネットワーククロスケーブルを使用したコンピュータへのダイレクト接続です。

6. **適用**をクリックして、設定を有効にします。プロジェクトの設定の変更中にネットワーク接続が切断された場合は、ステップ3を繰り返します。
7. **ネットワーク > ワイヤレスプレゼンター**を開きます。ネットワークプレゼンタがプロジェクトを識別できるように、プロジェクトの名前を入力します。また、プロジェクトのパスワードを入力して、プレゼンタが接続するたびにパスワードを入力しなければならないように設定することもできます。
8. **適用**をクリックして、設定を有効にします。

ネットワーク接続されたコンピュータから プレゼンテーションを行う

この章では、プロジェクトにケーブルまたはワイヤレスネットワークで接続されたコンピュータからプレゼンテーションを行う方法について説明します。

- 「プレゼンテーションの準備」 17ページ
- 「プレゼンテーションの表示」 23ページ

プレゼンテーションの準備

ここでは、ネットワーク経由でプレゼンテーションを行えるようにコンピュータを事前に設定する方法について説明します。

- 「ネットワーク経由でプレゼンテーションを行うためにコンピュータを準備するには」 18ページ
- 「ケーブルネットワーク接続用にコンピュータをセットアップするには(オプション)」 18ページ
- 「ワイヤレス接続用にコンピュータをセットアップするには(オプション)」 20ページ

ネットワーク経由でプレゼンテーションを行うためにコンピュータを準備するには

ケーブルまたはワイヤレスネットワーク接続でプレゼンテーションを行いたい場合は、ネットワーク経由のプレゼンテーション機能を提供するソフトウェアをコンピュータに追加インストールする必要があります。

1. お使いのコンピュータが以下のシステム最小要件を満たすことをご確認ください。
 - Microsoft Windows 2000またはXP (Home、ProfessionalまたはTablet PC edition)
 - 32 MB RAM
 - ハードディスクの空き容量 50 MB
 - CD-ROMドライブ
 - ケーブル接続用イーサネットネットワークアダプタまたはワイヤレス802.11bアダプタ
2. ソフトウェアCDをCD-ROMに挿入します。
3. Wireless Presenter-to-Goソフトウェアをインストールするオプションをクリックします。画面に表示される指示にしたがいます。
4. コンピュータにソフトウェアをインストールするオプションを選択します。
5. ハードウェアがWindows ログテストに失敗したという意味の警告メッセージが表示されたら、**続行**をクリックします。メッセージが表示されなくなるまで数回この操作を繰り返す必要がある場合があります。
6. **完了**をクリックします。

ケーブルネットワーク接続用にコンピュータをセットアップするには (オプション)



プロジェクタと同じネットワークを使用する場合、コンピュータの設定を変更する必要はありません。Wireless Presenter-to-Goを使用してプレゼンテーションを行うと、ソフトウェアからすべてのネットワーク上のプロジェクタに接続することができます。

プロジェクタとのネットワーク経由での接続が済んでいる場合は、コンピュータからプロジェクタにすぐに接続できます。プロジェクタの接続方法については、24ページの「プレゼンテーションを開始するには」を参照してください。

通常使用しているネットワーク以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

以下の手順にしたがってネットワーク設定を構成します(Windows XPパスが指定されている場合)。詳細については、Windowsヘルプでネットワーク接続を参照するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1. コンピュータで、**スタート>コントロールパネル>ネットワークとインターネット接続**の順にクリックします。
2. **ネットワーク接続**をダブルクリックします。
3. **ローカル エリア接続**を右クリックして、**プロパティ**をクリックします。
4. TCP/IPおよびその他のネットワーク設定が、ネットワーク管理者の指定どおりに正しく設定されていることを確認します。



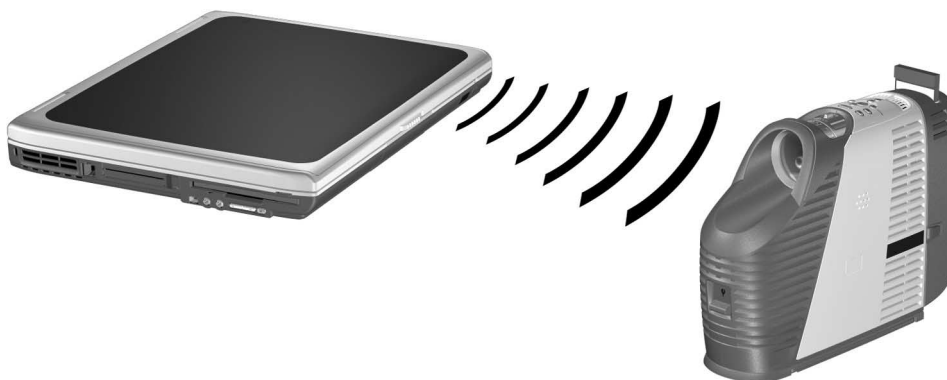
ワイヤレス接続用にコンピュータをセットアップするには(オプション)



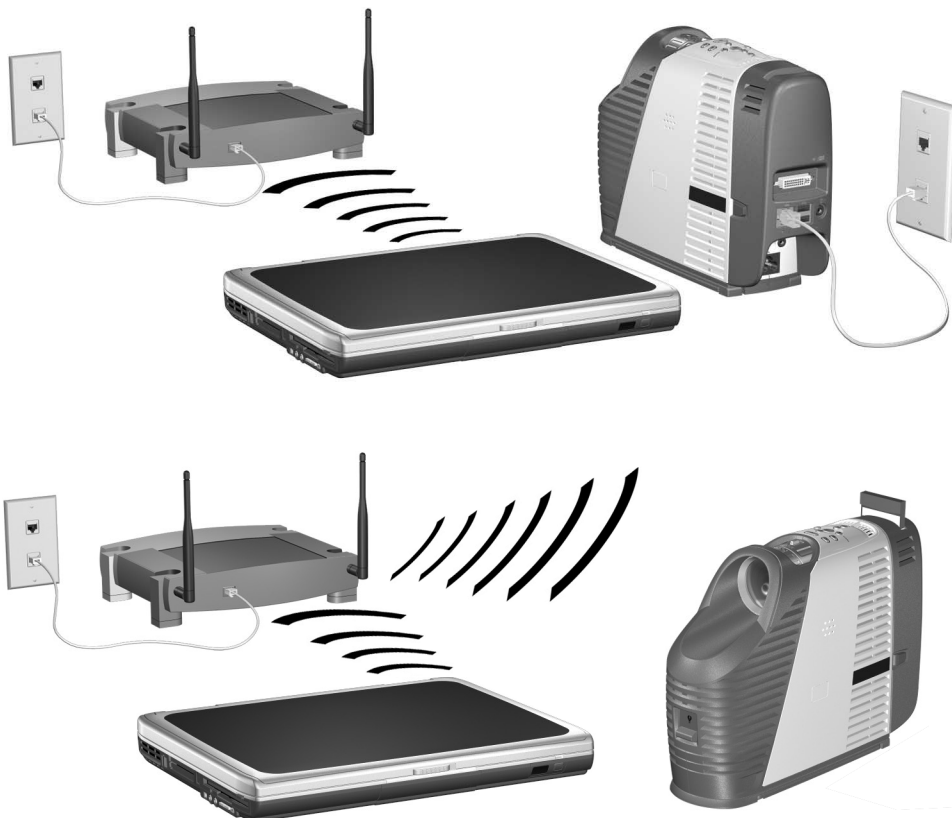
プロジェクタと同じネットワークを使用する場合、コンピュータの設定を変更する必要はありません。Wireless Presenter-to-Goを使用してプレゼンテーションを行うと、ソフトウェアからすべてのネットワーク上のプロジェクタに接続することができます。

コンピュータに802.11bワイヤレスネットワーク機能が備わっている場合は、ケーブルを使わずにプロジェクタに接続することができます。プロジェクタの設定内容によって、以下のいずれかの方法でワイヤレス接続を行うことができます。

- **Ad Hoc接続(簡易接続)** – コンピュータとプロジェクタを直接ワイヤレス接続します。アクセスポイントへのワイヤレス接続は行わないため、プロジェクタにオプションのワイヤレスカードを装着する必要があります。



- インフラストラクチャ接続 – ワイヤレスアクセスポイントを使用するワイヤレス接続です。アクセスポイントとプロジェクタはケーブルまたはワイヤレスネットワークで接続されます。





Wireless Presenter-to-Go ソフトウェアでワイヤレス接続を設定できるため、以下のステップをここで実行しなくてもかまいませんが、先に設定しておけばプロジェクタの検出と接続をより短時間で行うことができます。

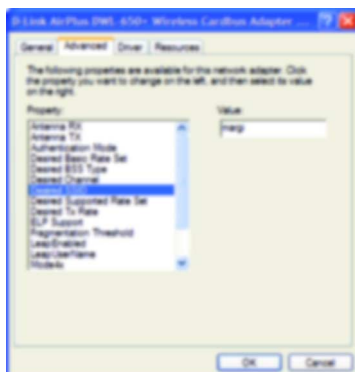
本プロジェクタにワイヤレスカードが付属している場合は、オンスクリーンメニューを開いて**クイックセレクト > Wireless Presenter**を選択します。画面にワイヤレス Ad Hoc 接続を行う際に必要な設定内容が表示されます。

プロジェクタからアクセスポイントまでケーブルまたはワイヤレスのインフラストラクチャ接続で接続しても、通常は別のワイヤレスネットワークで接続している場合は、SSID、暗号化オプション、TCP/IP などの正しい設定方法をネットワーク管理者にお問い合わせください。

以下の手順にしたがってネットワーク設定を構成します (Windows XP パスが指定されている場合)。詳細については、Windows ヘルプでネットワーク接続を参照するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1. コンピュータで、**スタート > コントロールパネル > ネットワークとインターネット接続**の順にクリックします。
2. **ネットワーク接続**をダブルクリックします。
3. **ワイヤレス ネットワーク接続**を右クリックして、**プロパティ**をクリックします。
4. [全般] タブのワイヤレスカード名の下**構成**をクリックします。
5. **詳細設定**タブをクリックします。

実際のワイヤレス設定の画面はワイヤレスカードやトランスミッタによって異なります。



6. **Ad Hoc**接続の場合は、以下のプロパティを設定します。

- [Authentication Mode (認証モード)]を**Ad Hoc**に設定します。
- Desired SSID (使用するデバイス名)およびWEP暗号化キーをプロジェクトの設定に合わせます。
- チャンネル設定が可能な場合は、チャンネルを **Auto (自動)**に設定します。

インフラ接続の場合は、以下のプロパティを設定します。

- [Authentication Mode (認証モード)]を**Infrastructure (インフラストラクチャ)**に設定します。
- アクセスポイントへの[Desired SSID (使用するデバイス名)]および[WEP Encryption (WEP暗号化キー)]をネットワーク管理者の指示にしたがって同じ値に設定します。
- チャンネル設定が可能な場合は、チャンネルを **Auto (自動)**に設定します。

7. **OK**をクリックします。

8. **ワイヤレス ネットワーク接続**を右クリックして、**プロパティ**をクリックします。

9. **TCP/IP**をダブルクリックします。接続タイプごとに、以下の値を使用します。

- Ad Hoc (アドホック)接続の場合は、以下のプロパティを設定します。
 - ☐ **IPアドレスを自動的に取得する**を選択します。
 - ☐ **DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する**を選択します。
- インフラ接続の場合、正しい設定方法については、システム管理者までお問い合わせください。

プレゼンテーションの表示

ここでは、コンピュータでプレゼンテーションを表示する方法について説明します。

- 「プレゼンテーションを開始するには」 24ページ
- 「プレゼンテーションを中止するには」 25ページ
- 「プレゼンタを追加するには」 26ページ
- 「プロジェクトの接続を解除するには」 27ページ

プレゼンテーションを開始するには

1. プロジェクタの電源がオンで、ネットワーク接続が設定されていることを確認します。第1章「プロジェクタのセットアップ」(7ページ)を参照してください。
2. Wireless Presenter-to-Go ソフトウェアがインストールされていることを確認します。18ページの「ネットワーク経由でプレゼンテーションを行うためにコンピュータを準備するには」を参照してください。
3. お使いのコンピュータの画面がXGA解像度(1024×768)に設定されていない場合は、**スタート > コントロール パネル > 画面 > 設定**の順に選択して、コンピュータの設定をXGA解像度に変更します。
4. **スタート > プログラム > Hewlett-Packard > Wireless Presenter > Presenter Panel** の順に選択します。
5. 一覧から使用するプロジェクタを選択します。

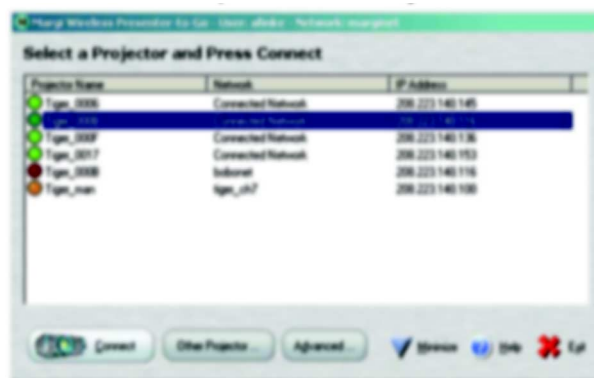
プロジェクタが一覧に表示されず、特にローカル ネットワーク上にはない場合は、**他のプロジェクタ**をクリックし、そのネットワーク設定を入力します。

プロジェクタが一覧にない場合は、使用するプロジェクタのネットワーク設定の入力を求める画面が表示されます。

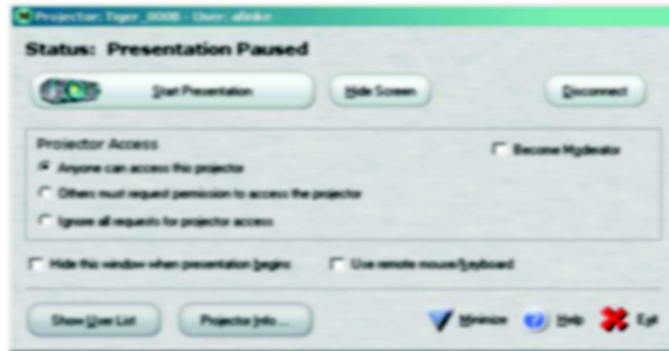


Ad Hocワイヤレス接続またはケーブルネットワーク接続の場合は、プロジェクタのオンスクリーンメニュー (**クイックセレクト > Wireless Presenter**)にプロジェクタの設定画面があります。

プロジェクタをアクセスポイントに接続しても、通常は別のワイヤレスネットワークで接続している場合は、SSID、暗号化オプション、TCI/IPなどの正しい設定方法をネットワーク管理者にお問い合わせください。



6. **接続**をクリックします。
7. プロジェクタのパスワードを求める画面が表示されたら、パスワードを入力します。プロジェクタのパスワードはオンスクリーンメニューに表示されます(**クイックセレクト> Wireless Presenter**の順に選択)。
8. コントロール画面で**プレゼンテーションの開始**をクリックします。コンピュータの画面にプロジェクタの画面が表示されます。



9. プロジェクタが別の入力ソースを表示している場合は、プロジェクタまたはリモコンの**ソース**ボタンを押して、ネットワーク入力ソースを検出します。

または

オンスクリーンメニューを開き、**入力> 接続モジュール**を選択します。

プロジェクタのアクセス権の設定と調停者に関する情報については、26ページの「プレゼンタを追加するには」を参照してください。



プレゼンテーションの制御にリモコンを使用したい場合、プロジェクタのリモコンを使用するためのオプションを選択します。リモコンを使用すると同時に、プロジェクタに接続されているUSBマウスやUSBキーボードもアクティブになります。

プレゼンテーションを中止するには

コンピュータとの接続を解除しなくても、プロジェクタ上でのコンピュータ画面の表示を中止することができます。この操作が必要なのは、例えば、コンピュータで別のプログラムを開いているときや、他のプレゼンタと共同で作業を行っているときなどです。

- 最後の画面を保持したままの状態では、**プレゼンテーションの一時停止**をクリックします。
- 空の画面を表示したまま、プレゼンテーションを中止するには、**画面を隠す**をクリックします。

続いて、**プレゼンテーションの開始**をクリックして、プレゼンテーションを再開するか、他のプレゼンタがプレゼンテーションを開始することを許可します。

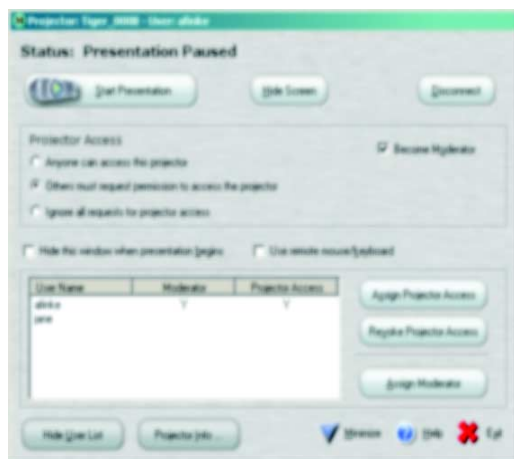
これらの操作はタスクバーの**Wireless Presenter-to-Go**アイコンを右クリックしても行うことができます。

プレゼンタを追加するには

1つのプロジェクタには複数のユーザが接続できますが、プロジェクタでプレゼンテーションを行うことができるのは常に一人です。複数のプレゼンタが共同で作業を行えるようにするには(各ユーザの制御権を同じにする)、プレゼンテーションを誰でも行えるように設定するオプションを選択します。

制御権をより厳しく設定するには、プレゼンテーション実行時にアクセス権を必要とするオプションを選択できます。さらに、調停者オプションをクリックすることで、一人のユーザを調停者に設定することができます。他のユーザのプレゼンテーションへのアクセス権を制御するには、調停者はユーザー一覧を開いて以下のような操作を行う必要があります。

- プレゼンテーションを行うユーザを割り当てるには、ユーザー一覧内から名前をクリックして**プロジェクタアクセスを割り当てる**をクリックします。
- プレゼンテーションを中止するには、ユーザー一覧内の名前をクリックして**プロジェクタアクセスを取り消す**をクリックします。
- 新しい調停者を割り当てるには、ユーザー一覧内の名前をクリックして**調停者の割り当て**をクリックします。



プロジェクタの接続を解除するには

1. Wireless Presenter-to-Go画面が表示されない場合は、タスクバーの**Wireless Presenter-to-Go**アイコンをクリックします。
2. 以下のいずれかの方法を実行します。
 - 接続を解除して終了する場合は、**終了**をクリックします。
 - このプロジェクタとの接続を解除して、別のプロジェクタに接続する場合は、**切断**をクリックします。

ワイヤレス携帯端末からプレゼンテーションを行う

この章では、プロジェクタにワイヤレスネットワークで接続された携帯端末からプレゼンテーションを行う方法について説明します。

- 「プレゼンテーションの準備」 29ページ
- 「プレゼンテーションを表示する」 32ページ

プレゼンテーションの準備

ここでは、ネットワーク経由でプレゼンテーションを行えるように携帯端末を設定する方法について説明します。

- 「ワイヤレス接続でプレゼンテーションを行えるように携帯端末を設定するには」29ページ
- 「モバイルプレゼンテーションを作成するには」 30ページ

ワイヤレス接続でプレゼンテーションを行えるように携帯端末を設定するには

携帯端末からワイヤレス接続でプレゼンテーションを行うことができます。このためには、コンピュータと携帯端末の両方に専用ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールには、携帯端末との同期が可能なWindows 2000またはXPが動作するコンピュータが必要です。

1. お使いの携帯端末が以下のシステム最小要件を満たすことをご確認ください。
 - Pocket PC (PPC 2002またはそれ以上、空き容量1 MB)またはPalm-OSハンドヘルド (Palm OS 5.0またはそれ以上、空き容量1.5 MB)
 - ワイヤレスネットワークアダプタによるイーサネットネットワーク接続
2. コンピュータにソフトウェアCDを挿入します。
3. Wireless Presenter-to-Goソフトウェアをインストールするオプションをクリックします。画面に表示される指示に従います。
4. モバイルプレゼンテーション用にソフトウェアをインストールするオプションを選択します。

- オペレーティングシステムの種類(Pocket PCまたはPalm)に合わせて正しいオプションを選択します。

Palmの場合は、画面に指示が表示されたら、ソフトウェアをインストールするデバイスのユーザを選択します。

Wireless Presenter-to-Goのインストールが完了すると次に作成ソフトウェアがコンピュータにインストールされ、プレゼンテーションソフトウェアを携帯端末に転送する準備が整います。

- 携帯端末をコンピュータに接続し、同期します。これにより、携帯端末にプレゼンテーションソフトウェアがインストールされます。

モバイルプレゼンテーションを作成するには

お使いのコンピュータで携帯端末またはメモリカードから表示できるプレゼンテーションを作成することができます(次の章で説明)。プレゼンテーションの作成はMicrosoft PowerPointを使用して以下の手順で行うか、31ページののステップに従って他のアプリケーションから出力して行うことができます。

PowerPointでプレゼンテーションを作成する

次のステップを実行するには、モバイルプレゼンテーション用にHP Wireless Presenter-to-Go Desktopソフトウェアをあらかじめインストールしておく必要があります。

- コンピュータで、既存のプレゼンテーションを開き、PowerPointツールバーにあるWireless Presenter-to-Goのモバイルプレゼンテーションボタンをクリックします。
- Wireless Presenter-to-Goのクリエータウィンドウで、**Show Advanced Options (詳細設定の表示)**をクリックし、適切な設定を選択します。オプションの説明については以下の表を参照してください。

アニメーション	Palm PCをご使用の場合は、アニメーションなしのオプションを選択します。
ディザー	Pocket PCをご使用の場合は、このオプションを選択してディザーを滑らかにします。ただし、このオプションを選択するとファイルサイズが大きくなる場合があります。
解像度	プレゼンテーションをプロジェクトで表示する場合は、表示解像度を1024×768に設定します。

3. プレゼンテーションを新しく作成するには、**作成**をクリックします。

または

他のプレゼンテーションにスライドを追加するには、**プレゼンテーション一覧**から追加先のプレゼンテーションを選択し、**追加**をクリックします。

4. お使いのコンピュータに同期用ソフトウェアとクレードルが装備されている場合は、携帯端末をクレードルにセットして同期をアクティブにします。
5. Wireless Presenter-to-Goクリエータ画面の**デバイス**で、お使いのデバイスの種類をドロップダウンボックスから選択し(さらにPalmの場合はユーザを選択して)、続いて**転送**をクリックします。

転送をクリックすると、その直後または次に自動同期を行った時点で、選択したプレゼンテーションが携帯端末にダウンロードされます。

自動同期機能を無効にしておくと、次に手動で同期するときにファイルをダウンロードできます。このファイルはWireless Presenter-to-GoプログラムフォルダのQueueフォルダに保存されます。

Wireless Presenter-to-Go画面には複数のオプションがあります。

- 変換されたプレゼンテーションを確認するには、**表示**をクリックします。
- プレゼンテーションをコンピュータのメモ리카ードに送信するには、**デバイス**をクリックします。
- Wireless Presenter-to-Goソフトウェアをハンドヘルドデバイスにインストールするには、**アプリケーションのインストール**をクリックします。
- 前に送信したプレゼンテーションを再送信するには、**アーカイブ一覧**をクリックします。



Wireless Presenter-to-Goでは、PowerPointで使用できたオーディオまたはビデオ機能はサポートしません。Pocket PC用のプレゼンテーションにはアニメーションおよびイメージの遷移を含めることができますが、Palmデバイス用のプレゼンテーションはこれらの機能をサポートしません。

印刷時にプレゼンテーションを作成する

次のステップを実行するには、モバイルプレゼンテーション用にHP Wireless Presenter-to-Go Desktopソフトウェアをあらかじめインストールしておく必要があります。

1. お使いのコンピュータで、プレゼンテーションスライドの生成に使用するアプリケーションを開きます。
2. 印刷ダイアログボックスを開き、使用できるプリンタドロップダウンリストから [Wireless Presenter-to-Go]を選択します。

3. **OK**をクリックします。

これにより、文書の印刷方向が横長に変換されます(モバイルプレゼンテーション形式)。文書のサイズが1ページを超える場合は、すべての資料が変換されるまで文書の全体像が別スライドとして保存されます。続いて、Wireless Presenter-to-Goクリエータ画面が開きます。

4. Wireless Presenter-to-Goクリエータ画面で、このトピックのPowerPointセクションで説明した手順にしたがってオプションを設定します。
5. プレゼンテーションを新しく作成するには、**作成**をクリックします。

または

他のプレゼンテーションにスライドを追加するには、**プレゼンテーション一覧**から追加先のプレゼンテーションを選択し、**追加**をクリックします。

6. お使いのコンピュータに同期用ソフトウェアとクレードルが装備されている場合は、携帯端末をクレードルにセットして同期をアクティブにします。
7. Wireless Presenter-to-Go画面の**デバイス**で、お使いのデバイスの種類をドロップダウンボックスから選択し(さらにPalmの場合はユーザを選択して)、続いて**転送**をクリックします。

前述のPowerPointセクションで説明したように他のオプションを設定できます。

プレゼンテーションを表示する

このセクションでは携帯端末にロードしたプレゼンテーションの表示方法について説明します。

- 「ワイヤレス接続を行うには」 32ページ
- 「プレゼンテーションを開始するには」 34ページ
- 「プロジェクタの接続を解除するには」 35ページ

ワイヤレス接続を行うには

携帯端末に802.11bワイヤレスネットワーク機能が備わっている場合は、ケーブルを使わずにプロジェクタに接続することができます。プロジェクタの設定内容によって、以下のいずれかの方法でワイヤレス接続を行うことができます。

- Ad Hoc接続(簡易接続) – コンピュータとプロジェクタを直接ワイヤレス接続します。アクセスポイントへのワイヤレス接続は行わないため、プロジェクタにオプションのワイヤレスカードを装着する必要があります。

- インフラストラクチャ接続 – ワイヤレスアクセスポイントを使用するワイヤレス接続です。アクセスポイントとプロジェクタはケーブルまたはワイヤレスネットワークで接続されます。



本プロジェクタにワイヤレスカードが付属している場合は、オンスクリーンメニューを開いて**クイックセレクト > Wireless Presenter**を選択します。画面にワイヤレス接続を行う際に必要な設定内容が表示されます。

プロジェクタからアクセスポイントまでケーブルネットワークで接続しても、通常は別のワイヤレスネットワークで接続している場合は、SSID、暗号化オプション、TCP/IPなどの正しい設定方法をネットワーク管理者にお問い合わせください。

これらのプレゼンテーションが完了していることを確認します。

- プロジェクタの電源がオンで、ネットワーク接続が設定されていることを確認します。第1章「プロジェクタのセットアップ」(7ページ)を参照してください。
- Wireless Presenter-to-Goソフトウェアがインストールされていることを確認します。29ページの「ワイヤレス接続でプレゼンテーションを行えるように携帯端末を設定するには」を参照してください。

Pocket PC

1. 設定画面で[接続]タブをタップし、次に[接続]アイコンをタップします。
2. [詳細設定]タブで、ネットワークカードボタンをタップします。
3. [ワイヤレス]タブのワイヤレスネットワーク一覧でネットワーク名(SSID)を右クリックし、[接続]をクリックします。

認証情報が必要な場合、ワイヤレス設定画面で[認証]タブをタップします。

4. [OK]をクリックします。

Palm

1. メイン画面で、Wi-Fiセットアップアイコンをタップし、[次へ]をタップします。
2. 必要なネットワーク名(SSID)が一覧に表示されたら、その名前をタップします。
必要なネットワークが一覧になければ、[その他]をタップしてネットワーク名(SSID)を入力し、[詳細]をタップして接続の種類(インフラストラクチャまたはAd Hoc)を選択します。
3. [OK]、[完了]の順にタップします。

プレゼンテーションを開始するには

1. Wireless Presenter-to-Goを起動し、プロジェクタに接続します。

Pocket PC

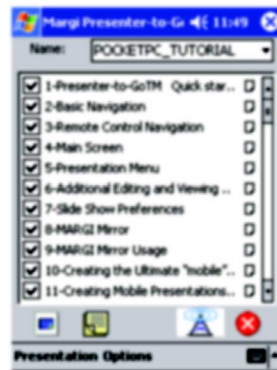
- a. [スタート]メニューから、**プログラム > Wireless Presenter-to-Go**を選択します。
- b. プロジェクタ/ワイヤレスアイコンをタップし、一覧からプロジェクタを選択します。ユーザを確認するために、名前を入力します。プロジェクタにパスワードが設定されている場合は、指定場所に入力します。
- c. [接続]をタップします。画面に現在のプレゼンテーションのスライド一覧が表示されます。



Palm

- a. メイン画面で[Presenter]をタップします。
 - b. ユーザを確認するために、名前を入力します。プロジェクタにパスワードが設定されている場合は、指定場所に入力します。
 - c. 接続するプロジェクタ名をタップします。画面に現在のプレゼンテーションのスライド一覧が表示されます。
2. プレゼンテーションの準備を行います。
 - プレゼンテーションを変更するには、ドロップダウンリストから別のプレゼンテーションを選択します。
 - プレゼンテーションから特定のスライドを除外したい場合は、一覧内のこれらのスライドのチェックマークを外します。

3. プレゼンテーションを開始するには、表示したい最初のスライドをクリックします。



4. プロジェクタが別の入力ソースを表示している場合は、プロジェクタまたはリモコンの **ソース** ボタンを押して、ネットワーク入力ソースを検出します。

または

オンスクリーンメニューを開き、**入力 > 接続モジュール**を選択します。

5. 別のスライドを変えるには、表示したい次のスライドをクリックするか、お使いのデバイスの移動ボタンを押します。

Pocket PCの場合、ビューアイコンをタップして携帯端末にスライドまたはプレゼンタノートを表示します。

プロジェクタのアクセス権の設定と他のプレゼンターとの共同作業に関する方法については、26ページの「プレゼンタを追加するには」を参照してください。

プロジェクタの接続を解除するには

1. ワイヤレスアイコンをタップします。
2. [切断]をタップします。

メモ리카ードからプレゼンテーションを行う

この章では、メモ리카ードにプレゼンテーションを保存して、コンピュータを使わずにプロジェクタに表示する方法について説明します。ここでは、このプレゼンテーション方式を*PCなしのプレゼンテーション*と呼びます。

- 「プレゼンテーションの準備」 37ページ
- 「プレゼンテーションの表示」 41ページ

プレゼンテーションの準備

プレゼンテーションを保存するには

1. コンピュータで適切なファイル形式のプレゼンテーションを作成します。次ページの表にサポートされるプレゼンテーション形式を示します。
2. 互換性のあるメモ리카ードをコンピュータに差し込みます。次ページの2番目の表にサポートされるメモ리카ードの種類を示します。
3. プレゼンテーションをメモ리카ードにコピーします。プレゼンテーションを保存するフォルダは一番上の階層でも新規作成したサブフォルダでもかまいません。



コンピュータにインストールされているフォントによってはプロジェクタで使えない場合があります。このようなときは、以下のいずれかを実行してください。

- メモ리카ードにPowerPointファイルをコピーする場合、HP Wireless Presenter-to-Goソフトウェアで、カード上に必要なフォントを埋め込むかどうかたずねる画面が表示されるので、フォントを埋め込みます。
 - HP Wireless Presenter-to-Goを使用してモバイルプレゼンテーションを作成する場合、フォント情報もプレゼンテーションに設定されます。
-

サポートされるプレゼンテーション形式

PowerPointプレゼンテーション (PPT)	HP Wireless Presenter-to-Goをインストールしている場合、プレゼンテーションのコピー時に必要なフォントがメモ리카ード上に埋め込まれます。39ページの「PowerPointプレゼンテーションを保存するには」を参照してください。
モバイルプレゼンテーションファイル(PDB)	HP Wireless Presenter-to-Go Desktopソフトウェアをコンピュータにインストールすれば、モバイルプレゼンテーション(PDBファイル)を作成できます。40ページの「モバイルプレゼンテーションを作成するには」を参照してください。
画像(JPG、BMP、PNG)	同一フォルダ内のJPG、BMP、PNGファイルはすべて1つの画像プレゼンテーションとみなされます。画像はアルファベット順で表示されます。

サポートされるメモ리카ードの種類

コンパクトフラッシュ (CF)	アクセサリモジュールのコンパクトフラッシュ用スロットにカードを挿入します。
セキュアデジタル(SD)	SD/コンパクトフラッシュアダプタまたはSD/USBアダプタが必要です。
マルチメディアカード(MMC)	MMC/コンパクトフラッシュアダプタまたはMMC/USBアダプタが必要です。
メモリースティック(MS)	MS/コンパクトフラッシュアダプタまたはMS/USBアダプタが必要です。
USB	アクセサリモジュールのUSBポートにカードを差し込みます。

コンピュータの準備をするには

メモ리카ードからのプレゼンテーションをサポートするには、HP Wireless Presenter-to-Go ソフトウェアをコンピュータにインストールする必要があります。

- PowerPoint ファイルでサポートするフォント。メモ리카ードから PowerPoint プレゼンテーションを直接表示するには、カードにあらかじめ必要なフォントが埋め込まれていなければなりません。フォントサービス機能は、これらのフォントをカードにコピーされたPPT (PowerPoint)ファイルに埋め込み、使用できるようにします。
- モバイルプレゼンテーションクリエイター。PowerPointプレゼンテーションやその他のタイプのファイルから特殊なモバイルプレゼンテーションファイルを作成できます。これらのファイルの作成には、HP Wireless Presenter-to-Go Desktopソフトウェアを使用します。

Windows 2000またはXPコンピュータに本ソフトウェアをインストールします。

1. コンピュータにソフトウェアCDを挿入します。
2. モバイルプレゼンテーション用にソフトウェアをインストールするオプションを選択します。
3. 携帯端末の種類を選択するよう指示された場合、どのオプションもマークしないことができますが、特定タイプの携帯端末にソフトウェアをインストールしたい場合は、該当するオプションを選択します(29ページの「ワイヤレス接続でプレゼンテーションを行えるように携帯端末を設定するには」を参照)。

PowerPointプレゼンテーションを保存するには

Microsoft PowerPointを使用して、メモ리카ードプレゼンテーションを作成できます。メモ리카ードにPowerPointプレゼンテーションを保存する場合、以下のいずれかの方法を使用してください。

- コンピュータにファイルを保存します。次に、Windows エクスプローラを使用して、取り出し可能なメモ리카ード上にファイルをコピーします。メモ리카ードへのフォントの埋め込みを求める画面が表示されたら、フォントを埋め込みます。
- メモ리카ードにファイルを直接保存します。次に、Windows エクスプローラでファイルを右クリックし、**埋め込みフォント**を選択し、カード上にフォントを埋め込みます。

以下のいずれかの指示にしたがいます。

- 標準または一般的なフォントをご使用ください。埋め込み制限があるフォントは避けてください。
- トランジション効果を使用している場合、一般的なトランジション効果をご使用ください。特殊なトランジションには対応していない場合があります。
- PowerPoint 2002に対応するファイル形式でファイルを保存してください。これより新しいバージョンのPowerPointを使用している場合、**ファイル > 名前を付けて保存**をクリックし、**ファイルの種類**でPowerPoint 2002を含むファイル形式を選択します。

フォントの埋め込みを有効または無効にするには、タスクバーのフォントの埋め込みアイコンをクリックし、必要なオプションを選択します。

モバイルプレゼンテーションを作成するには

HP Wireless Presenter-to-Go Desktopを使用して、Microsoft PowerPointや印刷可能なあらゆるアプリケーションからモバイルプレゼンテーションを作成することができます(PowerPointの場合は上のセクションを参照)。モバイルプレゼンテーションファイル(PDBファイル)は必要なフォント情報をすべて保持しています。モバイルプレゼンテーションを作成する際のオプションについては、30ページの「モバイルプレゼンテーションを作成するには」で説明します。



ファイルを転送する準備ができたなら、**デバイス**オプションを変更して、ファイルをメモリカードに保存します。

プレゼンテーションの表示

プロジェクタにメモ리카ードを挿入するには



メモ리카ードをセットすると、現在表示中のネットワークまたはワイヤレスプレゼンテーションは中断されます。ネットワークまたはワイヤレスプレゼンテーションを行うには、プロジェクタからすべてのメモ리카ードを取り出す必要があります。

- コンパクトフラッシュカード。アクセサリモジュールのコンパクトフラッシュ用スロットにカードを差し込みます。
- セキュアデジタルカード、マルチメディアカード、またはメモリースティック。アクセサリモジュールのコンパクトフラッシュ用スロットにアダプタを差し込むか、USBポートにアダプタを接続します。このアダプタにSD、MMC、MSカードを差し込みます。
- USBカード。アクセサリモジュールのUSBポートのいずれかにカードを差し込みます。



コンパクトフラッシュカードまたはアダプタの場合、カードの上面をプロジェクタの前面に向けて差し込みます。

メモ리카ードからプレゼンテーションを行うには





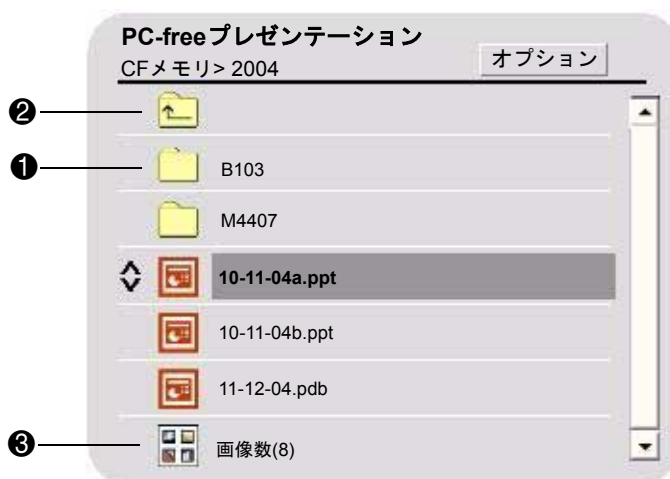
プレゼンテーションが1つだけ保存されたメモ리카ードを挿入すると、プレゼンテーションは自動的に開始します。以下の説明のように、プレゼンテーションを選択する必要はありません。

1. プロジェクタの電源をオンにします。
2. アクセサリモジュールにメモ리카ードを挿入します。
USBポートに複数のカードを差し込まないでください。
3. プロジェクタが別のソースの入力を表示している場合は、プロジェクタまたはリモコンの **ソース** ボタンを押して、メモ리카ードの入力を検出します。
または
オンスクリーンメニューを開き、**入力 > 接続モジュール**を選択します。
4. プロジェクタまたはリモコンで、Page Up、Page Down、上 **▲** および下 **▼** ボタンを押して表示したいプレゼンテーションを探します。

サブフォルダの内容を一覧表示するには、サブフォルダアイコン **①** を選択して右 **➤** ボタンまたは右クリックボタンを押します。











1つ上のフォルダに戻るには、上のフォルダアイコン **②** を選択して右 **➤** ボタンまたは右クリックボタンを押します。
5. **オプション:** メモ리카ードプレゼンテーションの設定を変更するには、上 **▲** ボタンを押して、**オプション**を選択し、次に右 **➤** ボタンを押します。下 **▼** ボタンを押してその設定を強調表示し、次に右ボタンを押してそのオプションを選択します。以下のオプションを変更できます。
 - ☐ ビジーインジケータ。スライドのロード中にアイコンが表示されます。
 - ☐ 連続ループ。最後のスライドのあと、最初のスライドに戻って表示します。
 - ☐ 自動スライドショー。自動的に次のスライドに進みます。
 - ☐ スライド間隔。自動スライドショーで、次のスライドとの間隔を秒数で指定します。
6. 表示したいプレゼンテーションを選択し、右 **➤** ボタンまたは右クリックボタンを押してプレゼンテーションを開始します。フォルダ内のすべての画像は1つのプレゼンテーションとして処理され、画像プレゼンテーションアイコン **③** として表示されます。

7. プレゼンテーションが開始したら、下  ボタンまたはPage Downボタンを押して別のスライドに移動します。
8. **戻る**  ボタンを押すと、プレゼンテーションが終了し、プレゼンテーション一覧が表示されます。















プロジェクタのボタンまたはリモコンを使用してプレゼンテーションを選択し、表示することができます。アクセサリモジュールのUSBポートにUSBマウスまたはキーボードを接続している場合、マウスやキーボードでプレゼンテーションの選択と制御を行うことができます。次ページの表を参照してください。


メモ리카ードからプレゼンテーションを行う

目的	使用するボタン
プレゼンテーションの選択	
一覧内で上下に移動して選択する	<ul style="list-style-type: none"> • Page UpまたはPage Downボタン(リモコンまたはUSBキーボード) • 上  または下  ボタン(プロジェクタ、リモコンまたはUSBキーボード) • アイテムをクリックまたはスクロールバーをドラッグする(USBマウス)
選択したプレゼンテーションを開く または 選択したフォルダの一覧を表示する	<ul style="list-style-type: none"> • 左クリックまたは右クリックボタン(リモコンまたはUSBマウス) • 左  または右  ボタン(プロジェクタ、リモコンまたはUSBキーボード) • 戻る  ボタン(プロジェクタまたはリモコン) • Enterキー (USBキーボード)
プレゼンテーションの表示	
前または次のスライドを表示する	<ul style="list-style-type: none"> • Page UpまたはPage Downボタン(リモコンまたはUSBキーボード) • 左クリックまたは右クリックボタン(リモコンまたはUSBマウス) • 左  または右  ボタン、上  または下  ボタン(プロジェクタ、リモコンまたはUSBキーボード)
プレゼンテーションを終了し、プレゼンテーション一覧に戻る	<ul style="list-style-type: none"> • 戻る  ボタン(プロジェクタまたはリモコン) • 左クリックまたは右クリックボタンを同時に押す(USBマウス) • Enterキー (USBキーボード)

メモ리카ードからプレゼンテーションを行う (続き)

目的	使用するボタン
プレゼンテーションの設定変更	
[オプション]メニューを開く	<ul style="list-style-type: none"> • Page UpおよびPage Downを押して[オプション]を選択し、左または右ボタンをクリックします(リモコン)。 • 上  または下  ボタンを押して [オプション] を選択し、次に左  または右  ボタンをクリックします。(プロジェクタ、リモコンまたはUSBキーボード) • [オプション]をクリックします(USBマウス)。
設定の変更	<ul style="list-style-type: none"> • Page UpおよびPage Downを押して設定を選択し、左または右ボタンをクリックします(リモコン)。 • 上  または下  ボタンで設定を選択し、次に左  または右  ボタンをクリックします。(プロジェクタ、リモコンまたはUSBキーボード) • [オプション]をクリックします(USBマウス)。
[オプション]メニューを閉じる	<ul style="list-style-type: none"> • Page UpまたはPage Downを押して[OK]または[キャンセル]を選択し、次に左または右ボタンをクリックします(リモコン)。 • 上  または下  ボタンで[OK]または[キャンセル]を選択し、次に左  または右  ボタンをクリックします。(プロジェクタ、リモコンまたはUSBキーボード) • [OK]または[キャンセル]をクリックします(USBマウス)。

メモ리카ードのプレゼンテーションを中止するには

- **戻る**  ボタンを押すと、プレゼンテーションが終了し、プレゼンテーション一覧が表示されます。または、
- オンスクリーンメニューで別のソースを選択します。または、
- プロジェクタからメモ리카ードを取り出します。

システムの管理

この章では、モジュールの管理とアップグレード方法について説明します。


- 「プロジェクトの管理」 47ページ
- 「システムのアップグレード」 51ページ

プロジェクトの管理

プロジェクトの設定の多くはオンスクリーンメニューを使って行うことができます。ネットワークや他の詳細設定は、コンピュータからプロジェクトのWebインタフェースにアクセスして行う必要があります。

- 「プロジェクトのアドレスを調べるには」 47ページ
- 「オンスクリーンメニューでプロジェクトを管理するには」 48ページ
- 「Webブラウザでプロジェクトを管理するには」 49ページ

プロジェクトのアドレスを調べるには

- プロジェクトまたはリモコンの**enter**を押して、オンスクリーンメニューを開きます。
ケーブル接続用のネットワークIPアドレスが数桁の数字で、メニューの下部に表示されます。
ワイヤレスIPアドレスを表示するには、**クイックセレクト > Wireless Presenter**の順に選択します。
back  ボタンを1回または数回押してメニューを閉じます。

オンスクリーンメニューでプロジェクトを管理するには

プロジェクトのオンスクリーンメニューについては、プロジェクトのマニュアルに詳しい説明がありますが、接続モジュールを取り付けると、専用のメニュー項目がオンスクリーンメニューに追加されます。

モジュール取り付け後の新規メニュー項目

クイックセレクト	
Wireless Presenter	Wireless Presenter-to-Goとプロジェクトを接続するために必要な情報を表示します。
入力	
接続モジュール	ケーブルまたはワイヤレスLANで接続したプレゼンターからの入力信号を示します。
セットアップ	
ネットワーク	ケーブル接続用ネットワークポートのTCP/IPを設定します。
ワイヤレスリセット	すべてのワイヤレスネットワーク設定をデフォルト値に戻します(特定のファームウェアバージョン用のみ)。
ヘルプ	
ネットワークについて	接続モジュール上のケーブルまたはワイヤレスネットワークポートの現在の構成内容を表示します。ワイヤレス設定および一部のケーブル接続設定の変更は、Webインターフェースで行います。49ページの「Webブラウザでプロジェクトを管理するには」を参照してください。

Webブラウザでプロジェクトを管理するには

プロジェクトをネットワークに接続すると、プロジェクト内蔵のWebサーバにアクセスすることができます。このWeb画面では、プロジェクトの現在のステータスをチェックしたり、構成内容を変更したり、ファームウェアをアップグレードしたりできます。このため、プロジェクトと同じ部屋にいらなくても、遠く離れた場所からプロジェクトにアクセスして設定することが可能です。

Webインタフェースは、Microsoft Windows 2000およびXP、Mac OS 9および10、Internet Explorer 5.5以上、Netscape Navigator 7.0以上をサポートします。

1. ネットワークに接続されたコンピュータで、Internet ExplorerまたはNetscape Navigatorを開き、プロジェクトのIPアドレスをURLバーに入力し、**Enter**を押します。詳細については、47ページの「プロジェクトのアドレスを調べるには」を参照してください。
2. 表示または変更したいプロパティに応じて、以下の表に示す場所に移動してください。
3. 必要な変更を行って**適用**をクリックします。

プロジェクトのプロパティ管理

ホームタブ	
デバイス情報	プロジェクトおよびモジュールに関する情報を表示します。
言語の選択	Webページの言語を選択します。
プロジェクトタブ	
クイックセレクト	使用頻度の高い設定を変更します。
入力	表示する入力ソースを選択します。
画像調整	画像の質感を変更します。
オーディオ	プロジェクトのサウンド出力を制御します。
セットアップ	プロジェクトの構成を行います。
ネットワークタブ	
Wireless Presenter	Wireless Presenter-to-Goとの接続で使用するプロジェクト名やオプションのパスワードを設定します。

プロジェクトのプロパティ管理 (続き)

ケーブル接続の設定	LANポート(ケーブル接続)のネットワーク設定を行います。
ワイヤレス設定	オプションの802.11bワイヤレスカードが挿入されている場合、そのネットワーク設定を行います。
SNMP	SNMP (Simple Network Management Protocol)の動作を構成します。
管理者アカウント	Webページ上の構成パラメータへのアクセスを制御するための管理者パスワードを設定します。
アクセス制御	プロジェクトへのホストアクセスを制限します。
ネットワーク統計情報	プロジェクトの統計情報を表示します。
管理タブ	
アラート	プロジェクトがどのような状況のときに自動メール通報を行うかを設定します。
ファームウェアアップグレード	プロジェクトおよびモジュールファームウェアをアップグレードします。
サポート	サポート情報を入力します。
更新間隔	Webページを更新する間隔を入力します。

システムのアップグレード

このセクションでは、プロジェクトのファームウェアのアップグレード方法について説明します。

■ 「ファームウェアをアップデートするには」 51ページ

ファームウェアをアップデートするには

HPではプロジェクトの性能改善のために、プロジェクトのファームウェアの最新バージョンを随時リリースしています。ファームウェアバージョンはオンスクリーンメニュー (**ヘルプ> このプロジェクトについて**) および **ホーム** タブのWebインタフェースに表示されます。最新バージョンの有無はhttp://www.hp.com/go/proj_firmwareをご確認ください。

接続モジュールが取り付けられている場合は、**Web**に接続してファームウェアをアップデートしてください。プロジェクトのファームウェアのみをアップデートする場合は、**USB** ケーブルによるアップデート方法を使用できますが、この方法ではモジュールをアップデートできません。

Web経由でのアップデート

1. プロジェクトがローカルネットワークに接続されていることを確認します。接続できない場合は、以下のステップの最後に記載された情報を参照してください。
2. プロジェクトのケーブル接続用のIPアドレスを決定します。詳細については、47ページの「プロジェクトのアドレスを調べるには」を参照してください。
3. プロジェクトの電源をオフにし、冷却するまで待ちます。
4. プロジェクトからM1ケーブルを取り外します(接続されている場合)。
5. ネットワークに接続されたコンピュータで、Internet ExplorerまたはNetscape Navigatorを開き、プロジェクトのケーブル接続用IPアドレスをURLバーに入力し、**Enter**キーを押します。
6. **管理**タブをクリックし、画面の左側の**ファームウェア アップグレード**を選択します。
7. Web上のアップグレードファイルを検索するためのリンクをクリックし、Webアップグレード用の最新のアップグレードファイルをダウンロードします。
8. プロジェクトの**ファームウェア アップグレード**ページに戻り、**参照**をクリックします。次に、ダウンロードしたファイルを選択します。
9. アップグレードボタンをクリックして、アップグレードプロセスを開始します。画面に表示される指示に従います。処理が完了するまで中断しないでください。

プロジェクタをネットワークに接続できない場合は、以下の手順でアップグレードの準備を行ってください。

1. ネットワーク接続されたコンピュータで HP プロジェクタアップグレード Web サイトにアクセスし(このセクションの始めを参照)、Webアップグレード用の最新ファイルをダウンロードします。
2. プロジェクタに同梱のアップグレード用LANケーブル(短)を用意します。このケーブルをプロジェクタのLANポートとコンピュータのLANポートに接続します。
3. プロジェクタのオンスクリーンメニューを開き、**セットアップ > ネットワーク**を選択します。DHCPオプションを無効に設定し、お使いのコンピュータのアドレスに対応するIPアドレスを入力します(アップグレードの最後に以前の設定に戻すことができます)。
4. プロジェクタの電源をオフにし、上記の指示にしたがいます。Webページからアップグレードファイルをダウンロードする手順は不要です。すでにダウンロードしたファイルを使用できます。

USB による接続 — プロジェクタのみ

1. VGAポートとUSBポートを持つコンピュータで、HPプロジェクタアップグレードWebサイトにアクセスし(このセクションの最初を参照)、最新のUSBアップグレード用ファイルをダウンロードします。
2. プロジェクタの電源をオフにし、冷却するまで待ちます。
3. プロジェクタのM1ポートとコンピュータのVGAポートをM1-VGA/USBケーブルで接続します。
4. M1-VGA/USBケーブルのUSBプラグをコンピュータのUSBポートに接続します。この接続は必ず行ってください。
5. コンピュータ上で、ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてアップグレードを実行します。画面に表示される指示に従います。処理が完了するまで中断しないでください。

トラブルシューティング

この章では、本モジュールの使用時における問題を解決する方法について説明します。

- 「トラブルシューティングのヒント」 53ページ
- 「プロジェクトのテスト」 62ページ

トラブルシューティングのヒント

このセクションを使用するには、発生した問題に最も近い例を探し、問題が解決するまで解決方法を1つずつ試してみてください。記載されている方法で問題が解決しない場合はHPまでご連絡ください。連絡方法についてはサポートガイドをご覧ください。

プロジェクトの使用中に問題が起きた場合は、プロジェクトのマニュアルを参照してください。

接続の問題

Wireless Presenter-to-Goでプロジェクトに接続できない:

- プロジェクトに電源コードが差し込まれ、電源がオンになっていることを確認します。
- コンピュータまたはプロジェクトにワイヤレス接続している場合は、コンピュータとプロジェクトが互いに通信範囲内にあるか、または、それぞれがワイヤレスアクセスポイントの通信範囲内にあるかどうかを確認します。屋内の場合、デバイスの間隔は50 m以内になるように設置してください(最大範囲は屋外の約5倍です)。
- WebブラウザおよびプロジェクトのケーブルまたはワイヤレスIPアドレスを使用してプロジェクトに接続できる場合は、ネットワーク設定および接続に問題はありません。Webブラウザで接続できない場合は、ネットワーク設定に問題がある可能性があります。次の項目を参照してください。

Webブラウザでプロジェクタに接続できない:

- ❑ プロジェクタの電源プラグが差し込まれていること、接続モジュールが正しく取り付けられていること、また接続ライトが点灯していることを確認します。
- ❑ コンピュータまたはプロジェクタでワイヤレス接続を使用している場合は、コンピュータとプロジェクタが互いに通信範囲内にあるか、または、それぞれがワイヤレスアクセスポイントの通信範囲内にあるかどうかを確認します。屋内の場合、デバイスの間隔は50 m以内になるように設置してください(最大範囲は屋外の約5倍です)。
- ❑ 正しいIPアドレスを使用していることを確認します。ケーブルネットワーク接続の場合、プロジェクタのIPアドレスはプロジェクタのオンスクリーンメニューに表示されます。ワイヤレス接続の場合、ワイヤレスIPアドレスはプロジェクタのオンスクリーンメニューに表示されます(**クイックセレクト > Wireless Presenter**の順に選択)。
- ❑ Wireless Presenter-to-Goを使用して接続できる場合は、ネットワーク設定および接続に問題はありません。ブラウザで使用されているプロジェクタのIPアドレスまたはホスト名が間違っている可能性があります。
- ❑ プロジェクタのIPアドレスがオンスクリーンメニューに表示されているかどうか確認します。DHCPサーバを使用するようにプロジェクタを設定しているのに使用可能なDHCPサーバがない場合、プロジェクタのIPアドレスは設定されません。この場合、DHCPを無効に設定し、手動でIPアドレスを設定します。または、ネットワーク管理者に有効なTCP/IPネットワーク設定を確認し、それに応じてプロジェクタを設定します。
- ❑ ネットワークの正しい設定方法について、ネットワーク管理者に問い合わせます。
- ❑ プロジェクタの電源をオフにし、そのままの状態ですら 15 秒以上待ちます。これでモジュールが再起動します。
- ❑ プロジェクタに別のコンピュータからなら接続できる場合は、「コンピューター ケーブル接続」または55ページの「コンピューターワイヤレス接続」を参照して、お使いのコンピュータをチェックしてください。プロジェクタに別のコンピュータからでも接続できない場合は、「プロジェクターケーブル接続」または55ページの「プロジェクター ワイヤレス接続」を参照して、お使いのコンピュータをチェックしてください。

プロジェクターケーブル接続

- ❑ プロジェクタと壁のネットワーク用ジャックにネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- ❑ 標準のネットワークケーブルを使用していることを確認します。通常のネットワーク接続には、ネットワーククロスケーブルまたはファームウェアアップグレード用ネットワークケーブルを使用しないでください。
- ❑ プロジェクタのLANポートの左のインジケータライトを調べます。ライトが点灯していない場合は、ネットワークがアクティブでない可能性があります。ケーブルを交換するか、コンピュータを使って壁のネットワーク接続用ジャックを確認してください。

プロジェクターワイヤレス接続

- ❑ コンパクトフラッシュ 802.11bカードがしっかりと挿入されていることを確認します。
- ❑ コンパクトフラッシュ 802.11bカードがプロジェクタと互換性があることを確認します。ワイヤレスプロジェクタ専用HPコンパクトフラッシュカード以外のカードはサポートされていません。
- ❑ プロジェクタがワイヤレス接続用に設定されていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**クイックセレクト > Wireless Presenter**を選択します。プロジェクタのワイヤレス設定を変更するには、ブラウザを使用してプロジェクタに接続する必要があります。詳細は、15ページの「ワイヤレス接続用にプロジェクタを設定するには」を参照してください。
- ❑ プロジェクタのワイヤレスカードを抜き差ししてみます。

コンピューターケーブル接続

- ❑ コンピュータと壁のネットワーク用ジャックにネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- ❑ コンピュータのLANポートのインジケータライトを確認します。ネットワークがアクティブでない可能性があります。ケーブルを交換するか、コンピュータを使って壁のネットワーク用ジャックを確認してください。

コンピューターワイヤレス接続

- ❑ コンピュータのワイヤレストランスミッタが動作していることを確認します。コンピュータにシグナルインジケータが装備されていれば、それを確認します。
- ❑ コンピュータのワイヤレス設定の内容を確認します。コンピュータのワイヤレス設定はプロジェクタまたはアクセスポイントの設定と互換性がある必要があります。アクセスポイントがない場合は、Ad Hoc接続を使

用し、プロジェクトのオンスクリーンメニュー (**ヘルプ> ネットワークについて**)に表示されているチャンネルと同じチャンネルを使用します。アクセスポイントが接続されている場合は、インフラストラクチャ接続を使用します。詳細については、第2章「ネットワーク接続されたコンピュータからプレゼンテーションを行う」(17ページ)または第3章「ワイヤレス携帯端末からプレゼンテーションを行う」(29ページ)を参照してください。

プロジェクトのネットワーク設定が完全に間違っているが、修正できない:

- プロジェクトのネットワーク設定をデフォルト値に戻します。最初にプロジェクトの電源をオフにし、冷却するまでしばらく待ってから、電源コードを外します。続いて、先端をまっすぐに伸ばしたペーパークリップをモジュールのオーディオポートの下にある小さな穴に差し込みます。穴の内側にある小さなボタンを押しながら、電源コードを差し込んでボタンを15秒以上押し続けます。
- ネットワークの正しい設定方法について、ネットワーク管理者に問い合わせます。

セットアップの問題

Webブラウザで設定を変更できない:

- Webブラウザでプロジェクトに接続できない場合は、前述の対処方法を参照してください。
- 特定のページにアクセスまたは編集できない場合は、Web管理者によってWebインタフェースへのアクセスが禁止されている可能性があります。管理者に連絡してください。
- 管理者パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワーク設定をデフォルト値に戻します。前述の対処方法を参照してください。

コンピュータにWireless Presenter-to-Goをインストールできない:

- お使いのコンピュータがWireless Presenter-to-Goの最小システム要件を満たしているかどうか確認します。詳細については、18ページの「ネットワーク経由でプレゼンテーションを行うためにコンピュータを準備するには」を参照してください。
- お使いのコンピュータにHP Wireless Presenter-to-Goの旧バージョンがインストールされている場合は、これをアンインストールしてから新しいバージョンをインストールします。

携帯端末にWireless Presenter-to-Goをインストールできない:

- ❑ コンピュータに本ソフトウェアをインストールできない場合は、コンピュータが最小システム要件を満たしているかどうか確認します。29ページの「ワイヤレス接続でプレゼンテーションを行えるように携帯端末を設定するには」を参照してください。
- ❑ お使いの携帯端末がWireless Presenter-to-Goの最小システム要件を満たしているかどうか確認します。29ページの「ワイヤレス接続でプレゼンテーションを行えるように携帯端末を設定するには」を参照してください。
- ❑ お使いのコンピュータにHP Wireless Presenter-to-Goの旧バージョンがインストールされている場合は、これをアンインストールしてから新しいバージョンをインストールします。

プレゼンテーションの問題

ネットワークまたはワイヤレス接続を経由してプロジェクタにコンピュータの画面が表示されない:

- ❑ Wireless Presenter-to-Goで、目的のプロジェクタに接続していることを確認します。
- ❑ Wireless Presenter-to-Goの画面に**プレゼンテーションの開始**ボタンがある場合は、それをクリックします。コンピュータが接続されていても、画面に表示されていないだけの可能性があります。
- ❑ 接続モジュールがプロジェクタのアクティブな入力ソースとして選択されていることを確認します。オンスクリーンメニューを開き、**入力 > 接続モジュール**の順に選択します。
- ❑ お使いのコンピュータの画面解像度がXGA (1024 × 768)に設定されていることを確認します。確認はコントロールパネルの[設定]タブで行えます。または、Wireless Presenter-to-Goの拡張デスクトップオプションからも確認できます(次の項目を参照)。

- ❑ Wireless Presenter-to-Goの詳細設定で 프로젝타を拡張デスクトップとして選択している場合、コンピュータで[画面のプロパティ]を開き、[設定]タブでディスプレイ2を設定してWindowsデスクトップを拡張する必要があります。次にコンピュータを 프로젝타に接続すると、 프로젝타に最初は何のウィンドウも表示されていません。 프로젝타に画面を表示するには、デスクトップの 프로젝타の領域に画面をドラッグする必要があります。
- ❑ 表示されているカラーに歪みがある場合は、コンピュータが24ビットまたは32ビットカラーを使用していることを確認します。確認はコントロールパネルの[画面]の[設定]タブで行うことができます。

프로젝타がネットワーク経由のプレゼンテーションを表示しなくなった:

- ❑ ワイヤレス接続を使用している場合は、信号の強度が極端に下がったために接続が中断されたことが考えられます。
- ❑ 調停者がいるセッションを実行中の場合は、調停者がプレゼンテーションを中止させた可能性があります。
- ❑ 別のユーザが 프로젝타に接続して、 프로젝타を制御している可能性があります。これを避けるには、Wireless Presenter-to-Goの画面で別のアクセス制御オプションを選択しておきます。

携帯端末からプレゼンテーションを行うときにPowerPointの機能が使えない:

- ❑ Palmデバイスを使用している場合は、アニメーションとイメージのトランジションはサポートされません。
- ❑ Pocket PCデバイスを使用中にアニメーションとイメージのトランジションを実行したい場合は、コンピュータでプレゼンテーションを作成するときに、アニメーションオプションを選択しておいてください。

リモコンのマウスボタンが機能しない:

- ❑ コンピュータを使用している場合、Wireless Presenter-to-Goで 프로젝타のリモコンを使用するオプションを選択します。

メモ리카ードの問題

PowerPointプレゼンテーションで間違ったフォントが表示された場合:

メモ리카ードにPowerPointフォントを埋め込むには、HP Wireless Presenter-to-Goソフトウェアをインストールしたコンピュータが必要です(39ページの「コンピュータの準備をするには」を参照)。

- ❑ PowerPoint PPTファイルを表示する場合、必要なフォントがメモ리카ードに埋め込まれていることを確認します(39ページの「PowerPointプレゼンテーションを保存するには」を参照)。
- ❑ Presenter-to-Goでフォントが埋め込まれていないことを示すメッセージが表示された場合、PowerPoint ファイルを編集し、埋め込みなかったフォントを別なフォントで代用してください。PowerPointで、**書式 > フォントの置換**をクリックし、すべてのフォントがTrueTypeフォントであることを確認します。次に、新しいフォントがメモ리카ードに埋め込まれていることを確認します。
- ❑ PowerPoint ファイルがお使いのコンピュータにインストールされていないフォントが埋め込まれていた場合、このフォントをメモ리카ードに埋め込むことはできません。可能ならば、PowerPointファイルのフォントを変更し、次に新しいフォントがメモ리카ードに埋め込まれていることを確認します。
- ❑ メモ리카ードの[FONTS]フォルダが削除されてしまうと、PPTプレゼンテーションですべてのフォントが使用できなくなります。この場合、カード上の各PPTファイルを右クリックし、**埋め込みフォント**を選択します。
- ❑ PowerPoint PPTファイルを表示する代わりに、モバイルプレゼンテーションPDBファイルを表示することができます。このファイルには必須フォント情報がすべて含まれます(40ページの「モバイルプレゼンテーションを作成するには」を参照)。

PowerPointプレゼンテーションのフォーマットまたはレイアウトが間違っ て表示された場合:

- ❑ PowerPointで、PowerPoint 2002対応のファイル形式でファイルを保存します。**ファイル>名前を付けて保存**の順にクリックし、**ファイルの種類**を変更します。
- ❑ Word ArtをPowerPoint PPTから表示することはできませんが、Word Artを表示可能な画像に変換することができます。PowerPointで、CTRLを押さえながら、スライドのWord Artをすべて選択し、次に右クリックして**図として保存**を選択します。次に、Word Artをすべて削除し、スライドに画像を挿入します。
- ❑ PowerPointのフォーマットと要素のいくつかはサポートされていません。別なフォーマットまたは別な要素を使用するか、下記のアドバイスに記載されている別な方法を試してください。

- ❑ PowerPoint PPTファイルを表示していると、メモリの使用量が多すぎてスライドが完全に表示されない場合があります。スライドのグラフィックスサイズを縮小するには、グラフィックを右クリックして**図の書式設定**を選択し、次に**圧縮**をクリックし、すべての画像用の設定オプションを選択し、トリミングされた領域を削除するオプションを選択します。
- ❑ PowerPoint PPTファイルを表示する代わりに、モバイルプレゼンテーションPDBファイルを表示することができます。このファイルは他のフォーマットと要素をサポートし、表示に使用するメモリの量が少なくてすみずみ(40ページの「モバイルプレゼンテーションを作成するには」を参照)。

PowerPointの特殊効果が機能しない:

- ❑ 音響効果などの一部の特殊効果はサポートされていません。
- ❑ モバイルプレゼンテーションを作成する場合、アニメーションオプションを選択していることを確認します。特殊効果が無効になるので、Palm互換オプションは選択しないでください。
- ❑ PowerPointで、PowerPoint 2002対応のファイル形式でファイルを保存します。**ファイル > 名前を付けて保存**の順にクリックし、**ファイルの種類**を変更します。

画像プレゼンテーションの画像の一部が片側に傾いている:

- ❑ 本プロジェクトは画像を回転できません。コンピュータまたはカメラにメモリカードを差し込み、コンピュータまたはカメラで画像を編集します。

Picture in pictureプレゼンテーションが表示されない場合:

- ❑ 3.5MB以上の画像は、プレゼンテーション時に不明な画像として扱われます。このような状況を避けるには、最初にファイルサイズを確認し、大きな画像があれば3.5MB以下のサイズになるように編集するか、JPGフォーマットに変換してください。

画像プレゼンテーションの画像が小さすぎる場合:

- ❑ 1024 × 768 ピクセルより小さい画像は画面に表示されるときに拡大表示されません。コンピュータにメモリカードを差し込んで使用する場合は、グラフィックスソフトウェアを使用して画像を拡大または編集してください。

画像プレゼンテーションの画像が正しい順に表示されない:

- 画像はファイル名に基づきアルファベット順に表示されます。コンピュータにメモ리카ードを差し込み、画像ファイルの名前を変更して、希望の順に表示されるようにしてください。

メモ리카ードがプロジェクタで動作しない:


- 本プロジェクタでは特定タイプのメモ리카ードのみサポートされます。38ページの「サポートされるメモ리카ードの種類」を参照してください。
- メモ리카ードがサポートされるファイル構造でフォーマットされていない可能性があります。コンピュータにメモ리카ードを差し込み、FATまたはMS-DOSファイルシステムでカードをフォーマットしてください。

プレゼンテーションファイルが一覧表示されない、または開かない:

- コンピュータにカードを差し込み、ファイル名を確認します。ファイル名の拡張子(3文字)はサポートされる拡張子でなければなりません。38ページの「サポートされるプレゼンテーション形式」を参照してください。
- プレゼンテーションファイルの内容が指定のファイルタイプと互換性がない可能性があります。コンピュータでファイルを開き、サポートされるファイルタイプのいずれかに保存しなおしてください。38ページの「サポートされるプレゼンテーション形式」を参照してください。

ハードウェアの問題

ソースボタンを押しても、別の入力が見えない:

- ソースボタンは  ボタンにリンクされており、メモ리카ードによるプレゼンテーションの間は移動ボタンとして使用されます。メモ리카ードを取り出すか、オンスクリーンメニューを使用して別の入力を選択してください。

USBマウスまたはキーボードが機能しない場合:

- メモ리카ードによるプレゼンテーションの間は、USBマウスまたはキーボードはプレゼンテーションの移動用としてしか機能しません。

- コンピュータによるネットワークプレゼンテーションの間は、USBマウスまたはキーボードはプロジェクタのリモコンオプションが選択されている場合のみ動作します。
- その他の条件では、USBマウスまたはキーボードの使用はサポートされていません。

オーディオ出力端子が動作していない

- オーディオ出力端子は将来のファームウェアバージョン用に予約されています。現在のファームウェアでは動作しません。

プロジェクタのテスト

オンスクリーンメニューにある診断テストを使って、プロジェクタとモジュールの動作が正しいかどうかを検証できます。

プロジェクタ診断テストを実行するには

1. オンスクリーンメニューを開き、**ヘルプ > 診断テスト**を選択します。
2. 実行するテストを選択します。

参考情報

この章では、プロジェクタの仕様、安全情報、規制情報を記載します。

- 「仕様」 63ページ
- 「安全情報」 64ページ
- 「規制情報」 65ページ

仕様

HPでは常に製品の改良に努めており、以下の仕様は変更される可能性があります。最新の仕様については、HP Webサイト<http://www.hp.com/jp>をご覧ください。

ビデオコネクタ	M1-DA (デジタル/アナログ)入力、オプションでVGA、DVI、コンポーネントビデオ(3 RCA)およびSCART用ケーブルを用意
オーディオコネクタ	ミニプラグステレオオーディオ出力端子(将来のために予約済み)
入出力コネクタ	LAN (RJ-45) コンパクトフラッシュ用スロット、Type II USB 1.1 type A ×2
プレゼンテーション ソース	M1-DA (デジタル/アナログ) 入力ポート LANポート コンパクトフラッシュ 802.11b ワイヤレスLANカード コンパクトフラッシュ、セキュアデジタル、マルチメディアカード、 メモリースティック、およびUSBメモリカード
プロジェクタの インタフェース	M1-DAコネクタ
電源	プロジェクタ側 M1-DAコネクタ

サイズ	74 mm x 182 mm x 47 mm
重量	252 g
環境	稼働時: 温度: 10 ~ 35°C 湿度: 相対湿度 最大80%、結露がないこと 高度: 3,000m、25°Cまで 保管時: 温度: -20 ~ 55°C 湿度: 相対湿度 最大80%、結露がないこと 高度: 12,000mまで

安全情報



警告: ケガを未然に防ぐため、以下の注意事項をお守りください。

- 目を痛めないよう、ランプが点灯しているあいだは、レンズを直接のぞかないでください。また、レーザー光線を人の目に向けたりしないでください。
- 感電防止のため、プロジェクタを雨や湿気にさらさないでください。マニュアルで指示されている場合を除き、プロジェクタのケースを開けないでください。
- 火災や感電防止のため、プロジェクタ内部に小さな金属物が入らないようにしてください。プロジェクタは保護ケースに入れて持ち歩いてください。また、ケースの内側にペーパークリップなどの小さいものは入れておかないでください。
- カバーを外し、内部コンポーネントに触る場合はマニュアルの指示通りに行い、プロジェクタの温度が下がるまでお待ちください。
- 火災防止のため、プロジェクタのレンズの周囲に紙類などの可燃物を置かないでください。
- 製品ラベルに記載された電圧および電流定格に適合する電源コードのみを使用してください。たこ足配線を避け、コンセントや延長コードに負荷がかかりすぎないようにしてください。

規制情報

この項には、一部地域の規制にアクセサリモジュールがどのように適合するかを記載します。HPの明示的な承認なしにモジュールを改変した場合、これらの地域でモジュールを使用する権利がなくなるおそれがあります。

日本

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境でを使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

国際

DECLARATION OF CONFORMITY

According to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name: Hewlett Packard Company
Manufacturer's Address: Hewlett Packard Company
 Digital Projection & Imaging
 1000 NE Circle Blvd.
 Corvallis, OR 97330-4239

Declares, that the product(s):

Product Name: Smart Attachment Module
Model Number(s): L1619A

Conforms to the following product specifications:**Safety:** IEC 60950:1999/EN 60950:2000

IEC 60825-1:1993 +A1/EN 60825-1:1994 +A11 Class 1 LED
 GB4943-1995

EMC: EN 55022: 1998 Class B [1]

CISPR 24:1997/EN 55024: 1998
 IEC 61000-3-2:1995/EN 61000-3-2:2000
 IEC 61000-3-3:1994/EN 61000-3-3:1995+A1:2001
 GB9254-1998
 FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B/ANSI C63.4:1992
 AS/NZS 3548:1995 Rules and Regulations of Class B

Supplementary information:

The product herewith complies with the requirements of following Directives and carries the CE marking accordingly:

-Low Voltage Directive: 73/23/EEC
 -EMC Directive: 89/336/EEC

[1] The product was tested in a typical configuration with Hewlett Packard Personal Computer peripherals. This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
 Corvallis, Oregon, August 21, 2003



Steve Brown, General Manager

European Contact for regulatory topics only: Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Straße 140, 71034 Boeblingen, Germany. (FAX: +49-7031-143143).

USA Contact: Hewlett Packard Co., Corporate Product Regulations Manager, 3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304. Phone: (650) 857-1501.

数字

802.11b

ワイヤレス接続を参照

A

Ad hoc接続

携帯端末の場合 32

コンピュータの接続 20

ワイヤレスプロジェクトの場合 15

I

IPアドレス

調べる 47

M

M1ポート 11

P

PCなしのプレゼンテーション 37

PowerPointプレゼンテーション

トラブルシューティング 59

ヒント 39

メモリカードで 39

PowerPoint用フォント 39

W

Web

によるプロジェクトの管理 49

Wireless Presenter-to-Go

携帯端末で開始 34

携帯端末へのインストール 29

コンピュータで開始 24

コンピュータにインストールする 18

トラブルシューティング 53, 56, 57

メモリカード用にインストール 40

あ

アクセサリ 7

アニメーション 30

安全性 64

インフラストラクチャ接続

携帯端末の場合 33

コンピュータの接続 21

ワイヤレスプロジェクトの場合 15

オンスクリーンメニュー

によるプロジェクトの管理 48

プロジェクトの設定画面 22

か

解像度 24, 30

拡張デスクトップ 58

共同作業 26

携帯端末

PowerPointとの互換性 31

ソフトウェアのインストール 29

プレゼンテーションを行う 34

ケーブルネットワーク

コンピュータを構成する 18

トラブルシューティング 53

プロジェクトの設定 13

コンパクトフラッシュカード

セットする 12

コンパクトフラッシュワイヤレスカード

設定 15

コンピュータ

ソフトウェアのインストール 18

プレゼンテーションを行う 23

ワイヤレス接続の設定 20

さ

システム要件 18, 29

仕様 63

接続

トラブルシューティング 53

接続解除

コンピュータで 27

設定をリセットする 56

た

調停者の割り当て 26

ディザー 30

テスト

診断 62

トラブルシューティング 53

取り付ける

携帯端末にソフトウェアを 29

コンピュータにソフトウェアを 18, 39

モジュールをプロジェクトに 10

な

内容物

梱包ケースの 8

ネットワーク

ケーブル接続ネットワークを参照

トラブルシューティング 53

によるプロジェクトの管理 49

ワイヤレス接続も参照

は

ハードウェア

トラブルシューティング 61

ファームウェア

アップデート 51

ファームウェアのアップデート 51

フォントの埋め込み 39, 59

複数のプレゼンタ 26

プレゼンテーション

携帯端末から 29, 32

携帯端末の準備 29

コンピュータから 17, 23, 37

コンピュータの準備 17

ハンドヘルド用に作成 30

プレゼンテーションの開始も参照

プレゼンテーションの中止も参照

メモ리카ードから 42

メモ리카ード用に作成 40

メモ리카ードを準備する 37

プレゼンテーションの開始

携帯端末から 34

コンピュータから 24

メモ리카ードから 42

プレゼンテーションの中止

携帯端末から 34

コンピュータから 25

コンピュータで 25

メモ리카ードから 45

プレゼンテーションを開始する

携帯端末の場合 30

メモ리카ード用に 40

プロジェクトアクセスを取り消す 26

プロジェクトアクセスを割り当てる 26

プロジェクトの管理

Webから 49

メニューによる 48

ま

マスタースライド 30

メモ리카ード

サポートされるプレゼンテーション形式 41

サポートされるメモ리카ードの種類 41

セットする 41

に作成する 40

に保存する 41

プレゼンテーションも参照

プレゼンテーションを行う 41

モジュール

各部分の説明 9

仕様 63
セットアップ 10
モデレータ 26
モバイルプレゼンテーション 30, 40

わ

ワイヤレス接続

カードのセット 12
コンピュータを構成する 20
トラブルシューティング 53
プロジェクタの設定 15
プロジェクタの設定画面 22

